

かながわの交通

2019
9

交通安全年間スローガン受賞作品(警察庁長官賞)
～一般部門(B)～ 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

身につける 夜道のお守り 反射材



第54回交通安全子供自転車全国大会 県代表チーム



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

**歩行者
事故
多発!**

◎県内の交通事故発生概況(8月末現在)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
令和元年		15,204	91	17,922
平成30年		17,266	99	20,593
増減数		-2,062	-8	-2,671
増減率		-11.9%	-8.1%	-13.0%

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,199,389	4,585,392	4,613,997
免許人口	5,646,765	3,221,521	2,425,244
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は 令和元年 8月1日、免許人口は令和元年 7月末現在)

令和元年度 秋の全国交通安全運動

～ 9月21日(土)から9月30日(月)の10日間 ～

目的

すべての県民を交通事故から守るために、県民一人一人が交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります

スローガン

- ・ 安全は 心と時間の ゆとりから
- ・ 高齢者 模範を示そう 交通マナー

重点

- 1 子どもと高齢者の安全な通行の確保
- 2 高齢運転者の交通事故防止
- 3 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 4 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 5 飲酒運転の根絶
- 6 二輪車の交通事故防止



ゼロティッシュ

9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」

～「令和元年度秋の全国交通安全運動」イベント～

《出発式》

- 日時 : 9月22日(日) 午後1時30分から
- 場所 : 横浜市中区日本大通1番地 神奈川県庁前日本大通り
- 内容 : 秋の全国交通安全運動に併せて、交通街頭活動に従事する警察職員の士気と県民の皆様の交通安全意識の高揚を図るため「秋の全国交通安全運動出発式」を開催いたします。

交通部長以下交通部各所属長、加賀町警察署長と白バイ25台、パトカー1台を集結させ、警察本部長を点検官とした服装点検・車両点検を行い、来賓として県知事や県公安委員会委員長のご臨席をいただき、街頭活動に出発することとしています。

(雨天中止)





第54回交通安全子供自転車全国大会

8月7日(水)、全国47都道府県の代表選手が東京ビッグサイトに集合して「第54回交通安全子供自転車全国大会」が開催されました。

神奈川県からは、7月6日の「第50回交通安全こども自転車神奈川県大会」で4年ぶり3回目の優勝を飾った開成町立開成小学校チームの井上実咲(6年)さん、小沼宥輝(6年)さん、中谷友美(6年)さん、菅野太陽(6年)さんの4選手が出場しました。当日は、交通安全協会、県警察、家族や学校関係者など大勢の人が駆けつけ、選手を激励しました。

大会は各種目減点方式で、午前9時から「交通ルールなど」の学科テストを行い、場所を移動して開会式を行った後、午前11時から昨年優勝の静岡県チームから実技テストを開始し、本県チームは44番目に一番員の井上選手がスタートしました。

各選手からは、学科テストで文章の微妙な違いを読み取るのに戸惑ってしまったとの感想があり、実技テスト



では、全国大会独特の雰囲気の中、ところどころでミスを出してしまい実力を十分発揮することができず、結果として全国大会のレベルの高さの前に、団体、個人とも入賞を果たすことはできませんでした。

選手、関係者の皆様お疲れ様でした。



第54回交通安全子供自転車全国大会観戦記

神奈川県警察本部交通総務課交通安全教育隊 巡查 北山 瑞季



夏休み真っ只中の令和元年8月7日、東京ビッグサイトで「第54回交通安全子供自転車全国大会」が行われ、本県代表である開成町立開成小学校の応援に行ってきました。

大会当日はとても暑く、会場も各県代表の選手たちや応援団の方々の熱気に包まれていました。

会場で、学科テストを終えた選手たちに声をかけると、「とても難しかった！実技テストは満点目指して頑張ります！」「緊張はしてないよ！いつも通り！」と、笑顔で応えてくれました。

コースの下見を終え、実技テストを前に選手たちの様子は、リラックスモードでしたが、自分の順番が近づいてくると集中した顔つきに変わっていきました。各県、選手たちへの声援は大きく、開成小学校の応援団も他県の声援に負けにくいくらい、気持ちのこもった応援を送っていました。

実技テストでは緊張した様子でしたが、慎重にペダルを漕ぎ進めて無事に完走することができました。競技が終わった後の安堵感からか、納得のいく走行が出来なかったからか、涙を浮かべる選手もいました。

結果は入賞を逃しましたが、神奈川県代表として力を出し切ることができたと思います。

大会が終了して、応援に駆けつけてくれた家族、開成町交通指導隊、役場の職員、安全協会の指導員、学校の先生、松田署員に対し、「応援ありがとうございました。」と声を震わせながら大きな声で挨拶をしてくれました。そして選手の顔には笑顔があふれていて、私は選手たちのやり切った姿や大会を終えて安心した表情を見て、感銘を受けました。

これからも自転車の交通ルールを正しく理解し、楽しく、安全に自転車に乗ってもらうために、来年の交通安全こども自転車神奈川県大会も、たくさんの子供たちが出場することを願っています。

交通指導員研修会の実施

交通指導員研修は、交通指導員事業運営要綱に基づいて実施することとされており、各地区で次々と実施されています。

厚木警察署管内交通安全協会では、厚木警察署に県委嘱の交通指導員と同協会会長・役員が集合し、厚木警察署交通課長らによる

- 管内の交通事故の発生状況
- 交通指導員の勤務及び留意事項

について講話があり、県交通安全協会配布の資料「高齢ドライバーの安全運転、交通KYTで事故を防ぐ!」を活用して交通事故防止に対する指導要領を研修しました。

未実施地区にありましては、是非、計画のうえ実施していただくようお願いします。



二輪車安全運転指導員への道

二輪車運転について知識・技能・指導力を有する指導員を養成し、二輪運転者に対する積極的かつ効果的な交通安全教育を推進するため「二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査」を行います。

二輪車のメーカー・販売・修理等の仕事に従事する方々をはじめ、二輪車を愛し、二輪車の快適さ、そして安全運転技能・マインドを、ライダーに伝えたい多くの皆様のご応募をお待ちしています。

① **日時** 令和元年10月12日(土) 《養成講習会… 8:30～12:00》 《資格審査… 13:00～16:30》
※ 養成講習会修了者でなければ、資格審査は受けられません。

② **場所** 神奈川県警察運転免許センター

③ **応募資格基準**

20歳以上で、二輪免許又は原付免許を持ち、その運転経験が3年以上あり、過去3年以内に行政処分を受けたことがなく、かつ悪質な交通違反を犯していないこと。その他、二輪車安全運転指導員としてふさわしい者であること。

※ 運転記録証明書がないと受講できませんので、必ず持参してください。

④ **内容**

- 養成講習会 ～ 適性検査、法令講習、法令試験、実技講習
- 資格審査 ～ 面接審査、書面審査

⑤ **費用**

- 講習会、資格審査料 ～ 3,500円
- 合格した場合の資格認定料 ～ 3,000円

⑥ **服装等**

服装は、二輪車の乗車に適したものとし、ヘルメット、プロテクターを持参してください。(プロテクター借用希望者は、申込用紙 所定欄に記載する。)

※1 実技審査は、受験者の持ち込み車両で実施しますが、最終合格の場合、審査時に使用したその車両(原付・普通二輪・大型二輪)以下の二輪運転者の指導が可能となります。

2 申込用紙は二輪車販売店、県交通安全協会にあります。詳細は県交通安全協会ホームページをご覧ください。



新任事務長紹介 ～よろしくお願ひします～

(一社)南交通安全協会 坂下 裕 事務長

今年の3月に神奈川県警察を退職し、4月から一般社団法人南交通安全協会の事務長として勤務させていただいている坂下と申します。警察当時は大半を刑事課で勤務していましたので、正直なところ交通に関する知識は全くと言っていいほどありません。



何故、私のような者が南の交通安全協会の事務長になれたのかと申しますと、私は南警察署で二度勤務したことがあり、二度目の時に安全協会の前の会長さんと知り合い、その方から退職時に声を掛けられて頂いたからです。ですから南区の地理的なことでは困りませんが、交通関係については、先ほど申したとおり全くゼロからのスタートですので、現状は、県安協をはじめとする各関係機関に迷惑ばかりお掛けしております。

私は今まで警察という組織しか知りませんので、「警察での常識は、一般では非常識」と言われることがないように、常に問題意識を持ちながら、南区から悲惨な交通事故を1件でも多く減らすために微力ではありますがお役に立てればと思っております。これからも、どうぞ宜しくお願ひ致します。

令和2年使用 交通安全ポスターデザイン募集

- ◆ 主催 一般財団法人全日本交通安全協会・毎日新聞社
- ◆ 後援 内閣府、警察庁等

◆ 募集部門及び応募資格

- ☆ 一般部門A=運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの…どなたでも応募可
- ☆ 一般部門B=歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの…どなたでも応募可
- ☆ 子ども部門=中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの…中学生以下

◆ 応募要領

- ◎ 募集期間 令和元年11月下旬～令和2年1月31日 消印有効
- ◎ 募集内容

① スローガンの使用

各部門とも、「令和2年使用交通安全年間スローガン」内閣総理大臣賞受賞作品(令和元年11月下旬発表予定)を**原文のまま使用**すること。

スローガンの漢字をひらがなに変えたり、句読点や括弧などの付加したりした場合は審査対象とならない。

② 作品サイズ

一般部門A、B：B3判(364^{mm}×515^{mm}) 縦位置のみ

子ども部門：B3判(364^{mm}×515^{mm})または四ツ切り画用紙(392^{mm}×542^{mm})で縦・横位置自由

※ 障害をお持ちの方で上記作品サイズを描くことが困難な方は、下記までお問い合わせください。

- ③ 応募点数の制限なし。共同制作も可。 ④ 自作、未発表の作品に限る。他者の知的所有権を侵害しないこと。無断で他者の作品や顔写真、商品、商標等を作品中に入れないこと。 ⑤ パソコンを使った制作、レタリング、イラストレーションの使用や写真のデザイン化も可。

⑥ 制作上の注意

※ 本ポスターのデザインは交通安全を訴えるものであることから、交通ルールを順守したものとし、制作に当たっては、特に以下の点に注意すること。ただし、危険性を訴える目的の場合を除く。

- ・ 信号機、標識、標示などは正しく描く
- ・ 車内の人物はシートベルトまたはチャイルドシートを着用
- ・ 自転車は安全な利用方法で表現(詳細はホームページ)
- ・ 自転車はブレーキ等車体を正しく描く

- ◆ お問い合わせ 毎日企画サービス「交通安全ポスター」事務局 (TEL:03-6256-6815 平日午前10時～午後5時)
- ◆ 送り先 〒262-0003 千葉県花見川区宇那谷町1501-2 株式会社ベターサービス「安全ポスター」係
- ◆ 発表 令和2年3月中旬の毎日新聞紙上とホームページ、NHKテレビ



(2019年神奈川県伊藤文人さんの作品)

交通事故の悲劇に学ぶ 73

●「命の尊さを忘れずに」 会社員(43歳)

ある年の9月、私はその日、会社を終えて帰宅する途中、事件を起こしてしまいました。私は2ヶ月前に転勤してきたばかりで、慣れない土地での仕事や車の運転でしたが、今思えば翌日が休みという気の緩みなどがあったと感じています。

自宅まであと10分足らずの交差点に差し掛かったときです。信号が赤色に変わったことが分ったため、先頭に車を停車させ、信号が青に変わるのを待っていました。

しかし、仕事の疲れや翌日が休みで早く家に帰りたいという思いがあり、少し焦って車の運転をしていたのではないかと思います。信号が青に変わったため、車を徐行しながら交差点に進入し、左折した際に「ドン」と音がしてフロントガラスに人の姿がありました。私は「どうして」と思い、車をすぐに止めました。横断歩道を渡って歩いている人に気が付かず、交差点を左折してしまい、前方不注意で事件を起こしてしまったのです。速度は出ていませんでしたが、強い衝撃で車をすぐ止めました。車を降りた自分の目の前には信じがたい光景が広がっていました。車と衝突し、仰向けに横たわる人…。

私は消防、警察に通報するとともに、被害者に救護措置を施す一方、到着した警察官によって現行犯逮捕されました。自分には一生縁がないと思っていた手錠を掛けられた時のことは今でも忘れることができません。その後、警察署で事情聴取中、被害者が亡くなられたと告げられました。私は「これで人生終わった…」と目の前が真っ暗になりました。

5ヶ月後、裁判が始まりました。それまで被害者や被害者ご遺族のことを考えると不安や恐怖でいっぱいでしたが、被害者ご遺族に謝罪の手紙、そしてご遺族のご自宅で直接お焼香、お参り、謝罪をすることができました。その際、被害者のご遺族は私の謝罪を聞いて頂いたばかりでなく、今後の人生の事まで心配して頂き、本当に申し訳のない気持ちでいっぱいになりました。

しかし、裁判の意見陳述では、故人との思い出とともに、私への憎しみが語られていました。「私はあなたを一生許しません。」という言葉聴いた時は胸が苦しくなりました。

禁錮1年8月の判決を受け、私は受刑生活を送っています。事件直後からしばらくの間は、自分のことしか考えていませんでした。家族や知人達は自分のことをどう思っているのか、社会的地位を失ってしまい、今後の人生はどうなるのか、受刑生活が始まって自分のご自身ばかり考え、亡くなられた被害者の方やご遺族のことをあまり考えなかったと思います。

そのような中で、市原刑務所で被害者のご遺族について考える機会があり、ようやくご遺族の方の心情を察すること



ができるようになってきました。加害者はいつかは刑期が終わり出所し、事件を起こす前と変わらずに生活することができます。

しかし、自分の犯した事件によってご遺族の方達は、怒りや悲しみ、苦しみから普通に生活することでさえ困難になり、一生逃れることができません。私は今回の事件で運転免許は失効、慰謝料は保険会社から支払われ刑期が終われば刑事、民事、行政の三つの責任は果たすことができますが、人間として一番大切だと感じる道義的責任(社会的責任)をどのようにすれば果たせるのかまだ答えが出ていない状態です。

被害者ご遺族の心の傷は月日とともに深く大きくなっているのだと思います。亡くなられた被害者の方の命が戻らない以上、心の傷は癒えることはないのかもしれないかもしれません。私は一生この罪と責任を背負わなければいけないと思っています。自分は過失運転致死という罪を犯してしまいました。謝罪、償いに終わりはあってはならないと思います。受刑生活で先生に教わった言葉、「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる」これを念頭において、残りの受刑生活や社会復帰後の生活を通じて迷惑を掛けた人達にも変わった自分を見てもらい、事件にもしっかり向き合い、被害者ご遺族の方に誠意ある謝罪をこれからも続けていきたいと思っています。

車は走る凶器です。ルールを守ることの意味や、ハンドルを握る責任の重さを忘れず、そうすればいつか交通事件は少なくなっていくはずで

私はそうなることを祈っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第53集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- トヨタカローラ神奈川(株) ————— 横浜市保土ヶ谷区狩場町
- (一社)神奈川県建設業協会 ————— 横浜市中区太田町
- 朝日オフセット印刷(株) ————— 横浜市鶴見区本町通り

この人

161



伊勢原交通安全協会
会長
飯塚 武彦さん



"市民一人ひとりが交通安全活動"

伊勢原交通安全協会の飯塚会長の「令和元年度」のモットーを紹介します。

早いもので会長に就任して3期6年目
在任中です。お陰様で当協会も厳しい社会・経済情勢にありながら諸事業を計画
どおり推進しております。

管内における交通事故状況は発生件数、
負傷者数は減少傾向で推移しているもの
の、高齢者が関係する交通事故や二輪車
が関係する事故が多発の現況にあります。
交通死亡事故も今年6月まで"ゼロ"を500日
間近くまで継続しておりましたが、残念なが
ら7月に2件発生してしまいました。また、昨
今特に高齢運転者が運転の誤操作なの
か、病気の発作なのか異常な事故が毎日
のように報道されていますが、悲惨な交通事
故が起きた翌日には「運転免許証の返納」
のお客が増えます。

昨年はメーカーの協力でサポートカー衝
突防止装置車やブレーキとアクセルの踏み
間違いについて「高齢者交通安全教室」
で体験教室を実施しました。

伊勢原市は駅周辺のほかは「第2東名
伊勢原JCT」が3月に開通したとは云え、閑
静な田園の田舎町で買い物や病院通い
には不便な町で、高齢者が運転免許証を
手放すにはよほどの決心だと感じます。
高齢運転者の交通安全教室などは「より
安全運転意識を高める教育」に改革して
例年に増して充実した交通安全教育の
推進を図ることをめざしております。

飯塚会長は・・・交通安全協会が単
なる運転免許証更新のお手伝いだけ
ではなく「地域に貢献する 魅力ある
交通安全活動」をめざし、賛助会員の
入会は「市民の"一人ひとり"が地域
の交通安全活動への参画」を意味づけ
たい・・・。

ここ数年来、免許会員の減少などの諸
問題を抱えていますが、健全な地域交
通安全活動事業の運営に努め、所轄警
察署や交通安全諸団体と共に交通事
故防止に寄与することは勿論、特に「
運転免許証の返納や若い人の免許離
れは深刻な問題です」との思いと抱
負を熱く語っております。

取材協力:伊勢原交通安全協会

こんにちは

「厚木警察署管内交通安全協会」です

当協会は、昭和23年4月に「厚木交通安全協会」として発
足し、創設71年目を迎えました。管内は、厚木市・愛川町・清川村を
管轄し、道路は厚木南インターが本年3月に東名高速道路伊勢原
JCTに接続し、神奈川県西部の拠点として発展しています。

交通事故は、昨年は一昨年と比べて、死者数、発生件数、負傷
者数はいずれも減少し、一定の成果を上げることができました。当
協会が取組んでいる点は、過去に飲酒運転による悲惨な交通事
故が発生したため、春先から夏にかけて河川敷等においてパーベ

キューを楽しんでいる家族連れ等関係者に対するハンドルキー
パー運動の働きかけを実施して
います。また、子ども自転車大会
に対しても、交通指導員の熱心
な指導により県大会において好
成績を収めております。交通指
導員は見守り活動をはじめ、地
域の花火大会・マラソン・その
他イベントに協力し、その貢
献に対しては感謝されてお
ります。

昨年12月に厚木警察署の新庁舎落成に伴い、当協会も本年
1月末に事務所を移転し業務を
しておりますが、現在の事務所は、
新警察署近くに場所の確保が
出来ないため離れており、バ
リアフリー対応等の問題があり
ます。



そのため、職員一同はお客様に案内等で、ご不便を掛けな
いよう対応に努めております。

今後とも、当協会は関係機関・
団体と連携して、会長以下役員・
指導員が一丸となって各種交
通安全活動に専念して参りたい
と考えております。

(渡辺 記)

地区交通安全協会の活動紹介



中原 警察署前での交通安全教室



海老名 海老名駅前での交通安全キャンペーン



青葉 田名第一公園での自転車教室



相模原北 橋本七夕祭での交通誘導活動



厚木警察署管内 旧昭和橋交差点での夜間街頭指導



都 筑 センター南駅前での交通安全キャンペーン



平塚市 天沼地区での交通安全キャンペーン



泉 緑園都市駅前での交通安全キャンペーン



山手 大鳥小学校での交通安全教室



大和綾瀬 警察署での交通指導員研修会

交通安全活動

インフォメーション

- 自転車安全整備制度ブロック会議 ————— 10月 3日(木)長野県
- 二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査 ————— 10月12日(土)運転免許センター
- グッドライダーミーティング ————— 10月14日(月)厚木中央自動車学校